

町商工振興会×ヤオマサ×一燈会

移動販売事業に関する3者協定を締結

9月の運行開始を目指して

これまで、町、町社会福祉協議会、町商工振興会（足柄上商工会松田支部）（以下、「町商工振興会」）、ヤオマサ株式会社（以下、「ヤオマサ」）、社会福祉法人一燈会（以下、「一燈会」）などで構成される移動販売事業推進協議会において、見守り活動を兼ねた移動販売事業の開始に向けた検討を重ねてきました。7月19日（火）に町商工振興会・ヤオマサ・一燈会が「移動販売事業に関する協定」を締結しました。また、同日、一燈会と町は、「地域見守り活動に関する協定」を締結しました。



この移動販売事業は、総合的な管理を行う町商工振興会、商品を提供するヤオマサ、そして実際に移動販売を行う事業主（ドライバー）には、公募の結果一燈会に決定し、この3者が協力して実施します。町商工振興会が、町社会福祉協議会と町の補助金を財源として移動販売車を購入し、その車両を使用して一燈会が買い物をするのが困難な方々などに見守り活動も兼ねた移動販売を行います。今後は、9月の運行開始に向け、準備を進めていきます。



（左から） 本山町長  
ヤオマサ 田嶋代表取締役社長  
町商工振興会 秋田谷会長  
一燈会 山室常務理事  
町社会福祉協議会 菅谷会長

【問い合わせ】  
移動販売推進協議会事務局（観光経済課 商工農林係）  
☎（83）12228

国際交流 International Exchange

町では昨年同様、8月27日（土）に開催される「まつだ観光まつり」と「あしがら花火大会」に外国人観光客をお招きします。大名行列などを通じて日本の文化に触れ、町の魅力を多くの皆さんに知っていただき、国際交流を推進するために次のとおりイベントを実施しますので、ぜひご参加ください。（1面に関連記事）

Let's Speaking! 交流会場はまつり会場

まつだ観光まつりの日に、外国人観光客とおしゃべりしませんか？お招きする予定の方々は英語圏となります。午後4時頃から観光まつり会場に設ける交流会場では、英語に自信のない方でも、コミュニケーションカードを用意しますので、それを見ながら話せば、簡単におしゃべりできます。英会話に興味のある方には、絶好の機会となりますので、気軽にお越しください。\*当日の飛び入り参加も可能です

ボランティア大募集

この国際交流イベントを応援して下さるボランティアを次のとおり募集します。▷外国人観光客の案内ボランティア 観光まつりのパレードや、会場等を外国人観光客と一緒に案内くださる方（日常的な英会話が可能の方） 8月27日（土）午後3～8時

▷浴衣着付けボランティア

外国人観光客への浴衣の着付けをお手伝いして下さる方（浴衣などの着付けができる方） 午後2～4時頃

不要になった浴衣、甚平をお譲りください

外国人観光客の方々に日本文化をより味わっていただけるよう、浴衣や甚平を着ていただければと考えております。ご家庭のたんすや押し入れに保管されている浴衣や甚平を『無償提供しても構わない』という方がいらっしゃいましたら、8月12日（金）までにご連絡ください。ご連絡をいただければ取りに伺います。\*ご提供いただいた浴衣や甚平は外国人観光客へプレゼントする予定です。



【応募・問い合わせ】 政策推進課 経営戦略係 ☎（83）1222

～生活の中でできる、身近な環境活動を紹介します～



エアコンを効率よく使うためのコツ

- ・冷気は床にたまるので、冷房の風向きを水平に調節しましょう。扇風機を併用して循環させるとより効果的です。
- ・冷房の室外機まわりはすっきりと片付けましょう。
- ・フィルターはこまめに掃除しましょう。

冷蔵庫の消費電力を減らすコツ

- ・設定温度は、夏は「中」、冬は「弱」にしましょう。
- ・物を詰め込みすぎず、開け閉めは素早く行いましょう。
- ・冷蔵庫の側面にはすき間をあけて設置しましょう。

【問い合わせ】 環境上下水道課 環境係 ☎（83）1227

風 つかぜ 熱闘 まつだ 松田町長 本山博幸 残暑厳しき折、町民の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。71年前の8月6日に広島、8月9日には長崎へ原爆が投下され、多くの尊い命が犠牲になり、同年8月15日に終戦を迎えました。先の大戦による戦没者および犠牲者の御霊に対し衷心より哀悼の誠を捧げるとともに、遺族の皆様におかれましても健やかでありますことを心からご祈念申し上げます。 1964年に東京オリンピックが開催され、日本は戦後からの復興をより強固なものとした。2020年に再び東京オリンピックの開催が決定し、改めて『オリンピック×地方創生』をキーワードとした地域再生の動きが日本各地で広がっています。また、5日から始まるリオデジャネイロオリンピックでは、小田原市出身の松下選手が400mハードルへ出場することが決まり、私たちも大いに期待しています。松田町も『スポーツマンシップ』の『のっとり』『地方創生』に取り組みで参ります。 さて、私の首長としての任期は4年であり、400mハードルに例えますと、現在第三コーナー300m辺りを通過し、残り100m（1年）の直線を、ハードル（課題）を越えながら走り切る事になります。これまでの3年間、過去の課題の解消と『未来に向けた準備』に全力で取り組んでこれたのは、ひとえに町民の皆様方のご支援・ご協力のおかげであります。その結果、嬉しい事に3年間で若い世帯が増加し、子供の出生数も増加してきました。この傾向をしっかりと分析し継続していくため、来年度に向けては、さらなる定住少子化対策として、『子育て世代の支援』ならびに、『立地条件を生かした宅地開発』、『自然環境が生み出す経済効果』の推進を図り、町民の皆様方にご理解・ご満足頂けるように町政経営に取り組みで参りますので、今後ともご支援・ご協力を宜しく願います。